

事業所名 カラコル

公表日

R5 年 10 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		適切である	天候等によりプログラムが変化する際の配慮
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用者に合わせた職員配置	配置数ではなく必要な支援ができる様にしている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		視える化	掲示物の統一感
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		空調や採光	個々の心地よい環境が違うので全員に心地よい空間を作る難しさ
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		事務所の開放	室内環境で個別対応にも限りがある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		月2回のミーティング	全員で参加できるようなファシリテーション
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケート後のミーティングや不定期な聞き取り	保護者が改善提案を出しやすい関係づくり
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年2回の個別面談	様々な意見を集約しての反映に時間がかかる
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	実施していない	今後検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		月2回のミーティング	継続した研修にならない

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年2回の支援計画作成と説明	支援計画に対しての保護者の時間確保が難しい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		月2回のミーティング	支援計画に対しての保護者の意見反映
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		月2回のミーティング	支援者や保護者の意見を十分に反映するようにしている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎日の振り返り	振り乖離事項を職員日誌に書き、参加していない職員への共有
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		月2回のミーティング	研修会等に参加し、多くの知識やツールを理解し活用している
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		月2回のミーティング	相談員や市役所職員と連携して最新の情報の共有を行っている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月2回のミーティング	活動ごとにチームを作っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月2回のミーティング	その日のメイン進行を毎日変更している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		月2回のミーティング	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		始業時の10分ミーティング	全員参加
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終業時の10分ミーティング	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日誌	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		月2回のミーティング	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		月2回のミーティング	児発管がミーティング時にアドバイスをしている

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々の活動	意見を言いやすい関係づくり
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議開催前	相談員と相談し誰に担当者会議に参加してもらうか事前打ち合わせをしている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談員との連携	必要なことは担当相談員を通して連携している
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者との連携	学校に関しては保護者を通して連携している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談員との連携	必要な情報に対しては担当相談員を通して連携している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談員との連携	必要時には常に開示できるように情報の保管をしている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修会等の参加	職員には立場に合わせた社外研修会の参加を進めている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域との交流	利用児童以外の子との交流も大切にしている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		不参加	当施設のある地域の協議会には登録できていないため
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時口頭説明 連絡帳記入	日々の活動に対しては送迎時と連絡帳で報告をしている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		お知らせ	イベントがある時には声掛けをしている
保護	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		保護者との連携	保護者と連携し、個別面談をして説明を行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者との連携	保護者と連携し、個別面談をして説明を行っている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者との連携	保護者と連携し、個別面談をして説明を行っている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者との連携	保護者と連携し、個別面談をして説明を行っている

者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	行っていない	今後検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	保護者との連携	保護者と連携し、個別面談をして説明を行っている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	LINE	保護者との情報活動の為にLINEの利用開始
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	研修会	個人情報に関する研修会を開き、職員の倫理観を統一している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	お知らせ	イベントがある時には声掛けをしている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	行っていない	今後検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	年2回の訓練	保護者も参加できるような訓練を検討している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCP計画の作成	BCP計画作成のための研修会の参加
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	お知らせ	イベントがある時には声掛けをしている
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	保護者との連携	保護者からの情報を聞き、適切に対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	年2回の訓練	訓練前に研修等を行い十分に配慮している
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	保護者との連携	保護者からの情報を聞き、適切に対応している
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	月2回のミーティング	職員全員で解決策を作っている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会を発足	虐待防止委員会を設置するための研修会に参加
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	身体拘束防止委員会を発足	身体拘束防止委員会を設置するための研修会に参加	